

2019 PEACE CUP 第30回 国際／国内交流車いすテニス大会

中国支部 事務局



今回で30回となる2019 PEACE CUP Hiroshima車いすテニス大会へボランティアとして参加しました。この大会には国際テニス連盟(ITF)車いすテニスツアーで歴代の優勝者として4大大会優勝、パラリンピックメダリストの国枝慎吾選手、上地結衣選手がいます。海外から(中国、台湾、タイ)12名、国内120名が参加し熱戦が繰り広げられました。しかし残念ながら今年でこの大会は最後の年となるそうです。

大会は10月17日からの4日間でしたが大会準備のために16日から活動しました。インドアコート4面を含めて20面のコートで試合を行います。ボランティアは選手がコートに向かう際の競技用車いすをコートまで運ぶ補助をします。インドアコートは他のコートより離れており、さらに低い位置にあります。インドアコートで試合が終わった選手は大会本部へ戻るためには坂を上がらなくてははいけません。坂の上までボランティアが車いすを押して上がります。「ありがとうございます」と選手からお礼を言われます。健常者にはそれほどでもない坂でも車いすです自分で上がることは大変なことだと改めて分かりました。

大会初日の夕方から3日目の午前まで雨が降り、その間はインドアコートのみで試合が行われ、車いすが乗り降りできるリフト付きの車で選手を運びます。選手が乗ると競技用車いす、ラケットなどを車に乗せ、コートに到着すると車いす、ラケット、選手を降ろすことが主な活動でした。大会を通じて車いすの方にとってもっと優しい環境が必要だと感じました。このテニスコートは1994年の広島アジア大会の際につくられたものです。センターコートのエレベーターは1機しかなく、競技用車いすの車輪は八の字になっておりそのままでは入らず車輪を外す必要があります。ちょっとしたことが実状に合っていないことが多々あると気づくことができた活動でした。



大会本部



あいにくの雨